



▲整備のすすむ武豊中央公園



▲ゼロカーボンシティ宣言



▲楽しみながらまち歩きできる「ウォーカブル」なまちづくり

マニフェスト

①安全で安心できるまち

- ・防災コミュニティセンターの新築準備
- ・新型コロナウイルス感染症対策の充実
- ・高齢者の保健事業と介護予防強化

②住民と行政の協働のまち

- ・少年・少女発明クラブの新設
- ・各種ボランティア団体の育成、支援
- ・地域交流イベントの支援

③暮らしやすいまち

- ・カーボンニュートラル脱炭素社会の推進
- ・ウォーカブルなまちづくり
- ・エコステーションの新設

④教育環境の充実と子育てがしやすいまち

- ・全小中学校体育館に空調施設の整備
- ・学校給食センターの新築
- ・子育てサポート体制の充実

⑤都市基盤の整備と活力あるまち

- ・道路整備計画、雨水排水計画によるインフラの充実
- ・みゆき通りの無電柱化計画の推進
- ・ラウンドアバウト(環状交差点)推進
- ・産業系土地利用の具現化

⑥楽しい生活のできるまち

- ・SDGs の推進
- ・駅西グランドデザイン化
- ・地域交流拠点の活用

5期目の取組み

マニフェストの一部について、簡単にご説明させていただきます。

私も、脱炭素社会に真剣に取り組むべきとの判断をもって、今年2月2日に「ゼロカーボンシティ宣言」をさせて頂きました。町全体で脱炭素に向けた取り組みを、出来ることから手掛けていきたいと考えております。

また、ウォーカブルなまちづくりを目指し、三つの小径を整備してまいります。それに合わせ、親子ウォーキング大会等の開催も検討していきます。

教育環境の充実では、小中学校体育館において空調施設の整備を進めてまいります。学校の授業以外にも、災害時における避難所としての利用を想定し、ライフラインが遮断された場合でも利用できる熱源を考慮した整備を行います。

また、老朽化が進んでいる、学校給食センターは、隣接する東大高保育園・あおぞら園との一体的な整備として、建て替えを進めてまいります。

さらに、楽しい生活のできるまちとして、駅西グランドデザイン化を図ってまいります。知多武豊駅周辺を「都市拠点」、武豊中央公園周辺を「公共交流拠点」と位置付け、地域と連携のもと、「都市拠点」と「公共交流拠点」を結ぶ、将



町民の皆様へ

これからも、町民の小さな声はもとより、声なき声も心の耳で拾い上げることが大切にし、謙虚な姿勢をもって、町民の幸せを第一に考えてまいります。

3年度からスタートしました、第6次武豊町総合計画の目指すまちの将来像「心つながり みんなでつくるスマイルタウン」を基軸に、『住みよい』から「住みたい」まちを具現化すべく、日々全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

すべての町民の幸せを願い

特集

町長の抱負
mayor's goal to achieve



5月11日に行われた武豊町議会臨時会における施政方針演説の様子

Profile

昭和22年7月12日、武豊町生まれ。
愛知大学法学部卒業後、郵船航空サービス(株)を経て、昭和47年に武豊町役場へ入庁。平成17年4月、町長に就任し、今年の4月から5期目がスタートした。73歳
座右の銘:一日一生

武豊町長 靱山芳輝

5期目のスタートにあたり

4月27日から新たな任期を迎え、5期目のスタートを切らせて頂きました。

まず私自身、謙虚に今一度、職務の原点に戻り、諸課題が山積する中、適切な行政運営を図らねばと、身の引き締まる思いであります。

一方、まだまだ、「コロナ禍」は収束するどころか、全国的に蔓延し続け、非常に厳しい状況となっております。町民の皆様のご理解とご協力のもとより、医療現場の最前線で使命感をもって、ご尽力いただいております全ての医療関係者の皆様に、心から感謝と敬意を表する次第であります。

このような時代の中で、私も臨機応変に対応し、時宜に即した的確な施策展開が求められると思っています。常に変化し続ける時代にあって、何が正解であるかを模索しつつ、住民ニーズを把握しながら、「住民とともにつくるスマイルタウン」を目指していくことが、私どもの責務であります。

これまで4期16年間にわたり、積み重ねてきた経験、そしてこれまで紡いできた人脈等も最大限に生かし、また、一度心のギアチェンジをして、職務に専念する所存であります。